

果樹病虫害発生予察調査結果（５／８調査分）
（三条、加茂、田上地域）

５月８日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共 通）

- 有効積算温度によるふ化盛期は、ウメシロカイガラムシの第１世代で**５月９日頃**、クワシロカイガラムシの第１世代で**５月２６日頃**、ナシマルカイガラムシの第１世代で**６月１０日頃**です。今後の気象条件や園地環境で時期が前後する可能性がありますので、適期に防除できるよう準備をお願いします。
- フェロモントラップによるナシヒメシンクイの誘殺盛期はモモ、ナシ園地とも**４月４半旬頃**となり、**４月６半旬までの誘殺数は平年を下回りました**。第１世代幼虫の防除時期は**５月中旬頃まで**と予測されますので、丁寧な防除に努めましょう。

（ナ シ）

調査地点ごとに新梢１００本、２００花そう葉、１００果を調査しました。

- 新梢が黒く枯れる花腐細菌病の症状が、一部園地で確認されています。り病枝・り病葉は切除し、園外で処分しましょう。
- 今回調査で黒星病の発生は確認されませんでした。気温１５～２０℃・９時間以上の湿潤状況で感染リスクが高まります。り病葉・り病果を発見したら摘み取り、園外で処分しましょう。
- 一部園地で、赤星病の発生が確認されています。降雨で感染が拡大しますので、降雨前の薬剤散布に努めましょう。
- 今回調査でセイヨウナシ褐色斑点病の発生は確認されませんでした。発見した場合は黒星病同様の対応をお願いします。

- 一部で、ニセナシサビダニの被害が確認されました。薬剤のかかりや通風に支障が出ないように、新梢が多すぎる部分は摘み取る等の対応をお願いします。

(モ モ)

調査地点ごとに新梢 5 本、結果枝 1 5 0 本、1 0 0 葉そう、1 0 0 花を調査しました。

- 多くの調査園地で、せん孔細菌病春型枝病斑が確認されていて、り病葉も一部園地で確認されています。今後の風雨で葉や果実への感染が拡大する恐れがありますので、り病枝やり病葉は切除して園外で処分しましょう。また、早期の袋かけで果実被害を軽減できるため、準備作業として早期の摘果をお願いします。
- 一部で、縮葉病が確認されています。り病葉・り病果を発見したら摘み取り、園外で処分しましょう。

※ 薬剤防除は防除暦の散布時期ではなく、生育にあわせた対応をお願いします。

次回調査は5月25日(月)を予定しています。

担当 : 中越支所 果樹共済係 TEL : 0 2 5 8 - 3 6 - 8 1 0 5 FAX : 0 2 5 8 - 3 4 - 8 0 2 0
